

■事務事業の総括

予算科目 款-項目（事業）	事務事業名
2-1-8-(3)	コミュニティバス運行事業
2-1-8-(4)	地域防犯対策事業
2-1-8-(5)	人権擁護活動事業
2-1-8-(6)	交通安全対策推進事業
7-1-1-(3)	消費生活推進事業
9-1-1-(3)	消防団活動事業
9-1-1-(4)	県操法大会出場事業
9-1-2-(3)	消防施設管理・運営事業
9-1-3-(3)	災害対策事業

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	2-1-8-(3)
事業名	コミュニティバス運行事業		

■基礎情報

目的	<p>公共交通がない本町に「暮らしの足」を確保する。 良好な生活環境（暮らしの足）を提供し、まちの活力に繋げる。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通推進会議事務局 ・運行契約事務 ・企業バス利用に関する協定事務 ・道路占用許可申請事務 		<ul style="list-style-type: none"> ・有料広告に係る事務 ・回数券・1日乗車券に係る事務 ・コミュニティバスサポート協働事業 ・ダイヤ編成事務
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年問題対策として、令和6年4月からダイヤ・路線の見直しを行った。これに伴い、便数やバス停が減少している中で、相反する「住民の利便性向上」とのバランスを見極めていくことが必要となってくる。 ・新型コロナ禍の影響により一旦は落ち込んだ利用者数も、少しずつ回復してきている。しかしながら、ワークスタイルの変化（リモートワークの一般化）や前述した減便等の影響もあり、令和6年度以降の利用者数は減少に転じる可能性がある。 ・運行支援協定について、協定企業と要望に応じたダイヤ調整を行ってきたが、前述の減便等の影響もあり、調整が困難になってきているため、現状の維持または縮小を視野に入れ取り組んでいく。 ・コミュニティバスサポート協働事業により、引き続き、利用者目線での意見を聞きながら、利便性の向上等に繋げていく。また、令和3年度より免許返納者、高齢者に対して外出支援サービスの一環として回数券の配布を開始した。令和5年度からは障がい者に対しても配布を開始した。新規利用者に対しては、「マイ時刻表」の作成サポートを継続していく。 ・利用者の利便性を高めるために、令和5年度からP a y P a y 決済を導入した。 		
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の道路状況の変化（小口線や愛岐南北線等の開通、155号線の拡幅）を鑑み、中長期的な視点でバスルートの再構築について研究していく。 ・コミュニティバスサポート隊と協働し、各小学校でコミュニティバスを紹介する事業など、新たなバス利用者獲得のための取り組みを行う。また、高齢者へのマイ時刻表の作成、免許返納者への回数券進呈など、バス利用促進事業を引き続き行う。 ・令和3年度からバスロケーションシステムを導入し、利用者ヘリアルタイム運行情報を提供しており、引き続き遅延情報等を伝え、利便性向上を図る。 		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第2節	生活基盤					
成果指標	コミュニティバス利用者数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	121,518人	118,143人	86,786人	96,831人	96,820人	104,691人	120,000人	130,000人

■ 3年間の目標

目標	継続運行						
項目(単位)			R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	継続運行
R8年度	継続運行

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	コミュニティバスサポート事業協働委託（まちなっと大口：契約） コミュニティバスサポート会議（通年適宜） 広報、バスデコ（通年） 町内3小学校において、バスの授業を実施（各小学校1回）
7	地域公共交通推進会議（第1回）
9	利用者やアンケートを反映したダイヤ等の見直しを検討する バス運行会社を交えた会議を開催し、意見交換を行う
11	毎年11月第1日曜日（ふれあいまつり）を「バス無料DAY」とし未利用者の乗車促進を図る。
1	地域公共交通推進会議（第2回）ダイヤ改正、ルートおよびバス停等の見直し
3	ダイヤ等変更周知（ホームページ）、バス停看板作成委託及び時刻表印刷発注 ダイヤ等改正 *その他、必要に応じて地域公共交通推進会議会長と打合せ

■目標又は改善策に対する取組内容

--

■評価

--

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	2-1-8-(4)
事業名	地域防犯対策事業		

■基礎情報

目的	犯罪を抑止する地域力の向上を目指し、地域の防犯団体や地域自治組織の防犯活動を支援し、また、防犯対策補助事業を通して各家庭の防犯対策強化を推進することを目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール団体との連携 ・江南防犯協会連合会事務 ・防犯講習会事務 ・青色回転灯防犯パトロール事務 ・防犯パトロール情報発信 ・パトロール団体への防犯グッズの貸出 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロール団体代表者会議 ・防犯啓発活動 ・四季の安全なまちづくり県民運動 ・県下一斉防犯特別警戒 ・防犯灯設置、修繕、管理 ・防犯対策補助事業
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・警察・地域と協力して、より犯罪抑止活動に努める必要がある。 ・防犯カメラ設置状況（本課所管分） H26/10基（新設） H27/ 1基（寄贈） H28/ 2基（増設） H29/ 1基（承認） H30/ 1基（増設） ・平成28年度から防犯灯の管理を区から町へ移譲し、平成29年度に環境負荷及びランニングコストの軽減を図るため、町内全灯LED化を実施した。 ・まちを明るくし、安全を守ることを目的に、各地区からの設置要望等により、適宜防犯灯を増設している。 ・平成15年度から「防犯対策補助制度」を実施しており、令和5年度までに1,263件の補助を行っている。また、令和5年度から市町村に対する県の補助金が導入され、財源として活用している。 <p style="margin-left: 20px;"> H15/ 54件 H16/ 68件 H17/ 85件 H18/123件 H19/ 89件 H20/ 80件 H21/ 70件 H22/ 61件 H23/ 65件 H24/ 55件 H25/ 64件 H26/ 34件 H27/ 41件 H28/ 24件 H29/ 14件 H30/ 24件 H31/ 34件 R02/ 91件 R03/ 53件 R04/ 49件 R05/ 85件 </p>		
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、パトロール団体や地域自治組織と協働して地域の防犯意識を高め、犯罪に強い地域を目指す。 ・防犯カメラについて、中電関連会社が提供している「みまもりポール」サービス（中電柱への防犯カメラ設置リース事業）を利用し、町内の監視体制を強化する。 ・適宜要望等により防犯灯設置を行う。また、避難路に設定されている道路に対しても、積極的に防犯灯を設置していく。 ・近年増加している特殊詐欺に関し、随時注意喚起を促す。 		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	防犯パトロールなど地域の取り組みとその支援の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	62.40%	68.20%					65.70%	66.00%

成果指標	大口町地域安全パトロール協議会加入人数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	1,565人	1,611人	1,532人	1,325人	1,337人	1,184人	1,630人	1,650人

成果指標	あんしん安全ねっと登録件数（防犯情報登録件数）							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	1,744件	2,388件	2,828件	2,813件	2,802件	2,778件	2,400件	2,500件

■ 3年間の目標

目標						
項目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	道路工事に伴い、効果的に防犯灯が設置できる箇所があれば、積極的に検討していく。
R8年度	同上

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
通年	<ul style="list-style-type: none">・地域防犯活動事業協働委託（南・北・中地域自治組織：4月契約）・四季の安全なまちづくり県民運動（4・7・10・12月）・地域安全パトロール団体代表者会議（5月）・防犯パトロール情報発信（随時）・あんしん安全ネットによる情報発信（随時）・防犯対策補助事業（通年）・防犯灯管理業務（新設・移設・修繕）・青色防犯パトロール事務

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	2-1-8-(5)
事業名	人権擁護活動事業		

■基礎情報

目的	人権が尊重される社会づくりを目的とする。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権相談（隔月） ・行政相談（隔月） <div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発運動 ・人権行政相談のPRを図る。 </div>
現在における経過又は課題	<p>・人権擁護委員全員（3名）により、人権教室を南小・北小・西小の4年生を対象に実施している。人権擁護委員が小学生役を寸劇により演じ、友人関係を上手に継続するよう、寸劇を交えながら説明し、人権を考える機会をつくっている。</p> <p>・令和5年度は人権相談・行政相談を6回開催した。 （令和5年度 人権相談0件・行政相談0件） （令和4年度 人権相談1件・行政相談2件） （令和3年度 人権相談0件・行政相談1件） （令和2年度 人権相談0件・行政相談1件） （令和元年度 人権相談1件・行政相談1件）</p> <p>・今後の人権擁護委員及び行政相談委員の人材確保が課題である。</p> <p>・令和3年度は、本町が属する一宮人権啓発活動地域ネットワーク協議会における「地域人権啓発活動活性化事業」の当番市町に当たり、各小・中学校での人権教育講演会や人権の花運動等を展開してきた。次回は令和10年度の予定である。 （*「地域人権啓発活性化事業」とは、一宮人権啓発活動地域ネットワーク協議会を構成している7市町（一宮市・稲沢市・犬山市・江南市・岩倉市・扶桑町・大口町）が輪番制で幹事市町を担い、事業を展開するものである。）</p>
令和6年度の目標又は改善策	<p>・人権教室や啓発活動等の中で、人権を意識できる人づくりができるよう、人権擁護委員と連携協力して進めていく。</p>

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成					
	基本政策	第3節	青少年の育成					
成果指標	/							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	/							

■ 3年間の目標

目標	年6回の行政相談や学校での啓発事業を継続的に行っていく					
項目(単位)	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	
/						

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権相談及び行政相談（年6回） ・啓発事業
R8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権相談及び行政相談（年6回） ・啓発事業

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
通年	・人権相談及び行政相談を隔月で年6回実施する。
1 1	・ふれあいまつりで人権擁護委員の企画運営により啓発活動を実施する。（予定）
1 2	・3小学校人権教室

■目標又は改善策に対する取組内容

--

■評価

--

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	2-1-8-(6)
事業名	交通安全対策推進事業		

■基礎情報

目的	「大口町民安全安心条例」に基づき、運転者への啓発活動、高齢者・子どもを対象とした交通安全教育の実施及び広報活動等を行うことにより交通事故の防止を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員に関すること ・交通安全推進協議会委員総会（4月） ・交通安全街頭監視活動 ・交通安全教室 （小中学校・保育園・幼稚園・高齢者等） 		<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発活動 （春夏秋冬の県民運動） ・2市1町交通安全対策連絡会議 （年4回） ・自転車駐車場管理（通年）
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に関する連携 （江南警察署、一宮建設事務所、維持管理課、建設課、学校教育課、地域協働課、町民安全課） ・交通安全街頭監視活動の継続的な実施及び四季ごとに行う交通安全運動の実施。 ・県と歩調を合わせ、「自転車乗車用ヘルメット補助金制度」を創設し、児童生徒等及び高齢者のヘルメット購入を補助（対象要件あり）し、自転車乗車時の着用を促進している。（令和5年度 274件） 		
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、交通事故の減少と交通安全意識の普及及び向上に取り組む。 ・小中学生を対象にした啓発を継続して行うとともに、広報紙を通して自転車賠償保険加入の啓発も行っていく。また、愛知県警による自転車安全運行講座を授業の一環の中で実施できるよう働きかけをしていく。 ・街頭監視活動を始め、各種交通安全啓発活動を地道に継続していく。 ・県と歩調を合わせ、「自転車乗車用ヘルメット補助金制度」を引き続き実施し、児童生徒等及び高齢者のヘルメット購入を補助（対象要件あり）し、自転車乗車時の着用を促進する。 		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	交通事故年間発生件数（人身事故）							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	222件	151件	127件	113件	139件	157件	152件	150件

成果指標	交通安全教室参加者数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	920人	1,711人	1,171人	1,128人	1,296人	1,300人	1,632人	1,800人

■ 3年間の目標

目標						
項目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	地道な交通安全啓発活動を継続して行っていく
R8年度	同上

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	交通安全推進協議会委員総会（書面開催予定） 駐輪場管理（コミュニティワークセンター：年間業務委託契約）
5	大口中学校（全生徒）を対象にし、警察による交通安全講座を実施
6～10	自転車安全教室協働委託（北・中・南地域自治組織）
12～1	ラ・モーナ幼稚園：名鉄自動車専門学校 大口幼稚園・町内全保育園：江南警察署による交通安全啓発活動
年4回	（春夏秋冬の県民運動：4，7，9，12月） 2市1町交通安全対策連絡会議（6，8，11，3月）
年間通し	交通安全監視活動
通常業務	交通指導囑託員による小学生登下校指導 交通安全の啓発→広報無線、広報、大型店舗内での啓発（適宜） 自転車賠償保険加入の啓発（適宜） ヘルメット購入補助金業務

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	7-1-1-(3)
事業名	消費生活推進事業		

■基礎情報

目的	消費生活の安定を目指し、消費者意識の高揚、消費者問題の解決等を促進する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">消費生活相談（毎月）多重債務者相談（毎月）	<ul style="list-style-type: none">量目検査（8月、12月）計量器定期検査（隔年）
現在における経過又は課題	<p>愛知県の各市町村が、平成30年までに「消費生活センター」を設置する中、本町では相談日開催時（1回／月）の消費生活相談者が少ないことから、本町単独での「消費生活センター」の設置については、現時点においては必要がないと判断している。今後、相談者が増え、開催回数を増やさなければならない状況になった場合、県及び近隣市町と共同して運営していく協議をしていきたい。</p>	
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none">消費生活に係る案件について、適宜、広報紙等で啓発していく。	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	詐欺や悪徳商法に注意している人の割合							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	80.20%	79.90%					83.70%	84.00%

成果指標	消費生活講座出席者数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	40人						75人	80人

■3年間の目標

目標						
項目(単位)	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	消費生活相談(毎月)、多重債務者相談(毎月)の継続的な実施 計量器定期検査の実施
R8年度	同上

■作業工程(当該年度)

月	作業内容
通年	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談及び多重債務者相談(毎月) 量目検査(8月・12月予定)

■目標又は改善策に対する取組内容

--

■評価

--

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	9-1-1-(3)
事業名	消防団活動事業		

■基礎情報

目的	消防団員が非常時の消防活動を十分に行えるよう、万全な態勢に努め、地域住民が安全安心で快適に暮らしていけるように進めていくことを目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水防訓練 ・大口町小型ポンプ操法大会 ・丹葉地区合同訓練会 ・愛知県消防操法大会<会場/日進市> (R 5、6/大口町、R 7、8/扶桑町) ・大口町消防観閲式 		<ul style="list-style-type: none"> ・予防啓発活動 ・年末夜警 ・丹羽郡消防出初式 ・大口町消防団任命式 ・各種訓練(実践操法、中継訓練等)
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に消防団員の報酬等の改訂を行った。(平成30年度～適用) ・平成30年度に「消防団分団運営交付金交付要綱」を策定し、対象経費等の明確化を図った。 ・行政区によっては団員数が少なく、団員確保に苦慮している現状が継続した課題になっているので、区長会や女性消防団員が作成する「けしこちゃん通信」、SNSなどを通して、PRを行っている。 ・令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、大会や訓練など消防団活動があまりできなかった。 ・令和4年度から消防団員の報酬等の改訂を行い、従来、費用弁償で支払っていた出動手当を報酬で支払うようにした。 		
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、団員確保に取り組むとともに、火災・災害時の対応に向けた訓練を充実させていく。団員確保については、区長会での依頼や女性消防団員が作成する「けしこちゃん通信」、SNSなどを通して案内をしていく。 ・各種行事への参加や訓練、会議や委員会等の見直しを行い、団員の負担を減らせるよう、消防団活動について検討を行う。 		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	消防・救急体制に満足している住民の割合							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	76.60%	80.90%					78.80%	82.00%

■ 3年間の目標

目標						
項目(単位)	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	消防団活動体制の維持
R8年度	消防団活動体制の維持

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	基本動作及び放水訓練
4～8	県操法大会訓練
5	実践操法訓練
	水防訓練
6	大口町小型ポンプ操法大会の開催
7	丹葉地区消防団連合会合同訓練会
8	県操法大会
9	中継訓練
10	中継訓練
	部隊・全体訓練
11	ふれあいまつり参加予定
	大口町消防観閲式の開催
	秋の火災予防運動（予防啓発活動）
12	年末夜警の実施
3	春の火災予防運動（予防啓発活動）
	令和7年度大口町消防団任命式
	新人団員研修

■目標又は改善策に対する取組内容

--

■評価

--

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	9-1-1-(4)
事業名	県操法大会出場事業		

■基礎情報

目的	愛知県消防操法大会出場に向けて更なる技術と団結力の向上を図る。
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・訓練の実施・大会出場に関する庶務
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none">・平成14年度より選抜方式で出場を続けてきたが、サポートを含めるメンバーの固定化による団員間の温度差が問題視されてきた。そのため平成29年度から選抜方式を分団ごとの持ち回り方式に改め、分団内の結束力や連携を高めることを目的として大会に臨んでいる。・大会出場者は、厳しい訓練を行うことになり、様々なことが制約されるため、なり手不足で人選に苦慮している。・令和5年度は大口町消防団が出場し、令和6年度も引き続き大口町消防団が出場することとなった。以降は、2年ごとに大口町と扶桑町とで持ち回りで出場する予定である。
令和6年度の目標又は改善策	愛知県消防操法大会は競技大会のため、順位は付きものだが、大会までの数か月間を通して、選手、サポートメンバーはもちろん、各分団間の横の繋がり、絆を深め、団結力のある消防団となることを目標とする。

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	/							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
/								

■ 3年間の目標

目標	愛知県消防操法大会出場に向けて更なる技術と団結力の向上を図る。					
項目(単位)	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	
/						

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	愛知県消防操法大会出場において、団員に過度な負担が掛からないよう、訓練内容等について検討する。
R8年度	愛知県消防操法大会出場において、団員に過度な負担が掛からないよう、訓練内容等について検討する。

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	訓練開始
6	個別指導会（県消防学校）
7	丹葉地区合同訓練会
8	県操法大会

■ 目標又は改善策に対する取組内容

--

■ 評価

--

令和 6 年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	9-1-2-(3)
事業名	消防施設管理・運営事業		

■基礎情報

目的	火災及び災害発生に備え、消防施設の設置及び管理を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火栓の設置及び管理 ・ 防火水槽の管理 ・ 丹羽広域事務組合消防本部 		<ul style="list-style-type: none"> ・ その他、消防関係の施設管理
現在における経過又は課題	<p>・ 消火栓及び消防水利については、丹羽消防署の点検結果に基づき、緊急度の高い順に修繕を行っている。</p> <p>・ 設置から30年以上経過する防火水槽が多数存在し、今のところ大きなトラブルは確認されていないが、今後、内部をコーティングする工事など施工し、延命化を図ることが必要となる。また、防火水槽のバルブの老朽化による水漏れが頻発しており、突発的なバルブ交換補修も必要になってくるため、これに係る予算措置を講じていかなければならない。</p> <p>・ 各地区に存する火の見やぐらについては、令和4年度に全区長と話をし、令和5年度からは町が管理することとした。については、順次塗装修繕を施すとともに、地域における防火シンボルの施設として管理していく。令和5年度は、秋田区の火の見櫓修繕を行った。</p>		
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火栓及び防火水槽の不具合箇所が判明した場合には、速やかに修繕できるよう処置する。 ・ 防火水槽の水利台帳データを整理更新する。 ・ 防火水槽等消防水利標識の計画的な更新を行う。 ・ 丹羽広域事務組合と連携し、水利施設の維持を図る。 ・ 火の見やぐら修繕について、令和6年度は、上小口区、中小口区を予定している。 		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	消防・救急体制に満足している住民の割合							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	76.60%	80.90%					78.80%	82.00%

成果指標	防火水槽改修数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
							20基	20基

■3年間の目標

目標						
項目(単位)	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標	

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	・防火水槽の水利台帳データの整理更新
R8年度	・防火水槽の水利台帳データの整理更新

■作業工程(当該年度)

月	作業内容
随時 通年	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓及び防火水槽の修繕を適宜に実施 ・消防水利点検及び台帳の更新整理 ・防火水槽等消防水利標識の更新計画を策定し実施

■ 目標又は改善策に対する取組内容

--

■ 評価

--

令和6年度 事業別行政経営計画書

所属名	地域協働部町民安全課	予算科目	9-1-3-(3)
事業名	災害対策事業		

■基礎情報

目的	災害に対応できる体制整備すること及び事前に備えることで災害時の被害の軽減（減災）を図る。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災会議開催 ・防災備蓄品の購入及び管理 ・防災訓練 ・国民保護計画改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口町地域防災計画改訂 ・高度情報通信ネットワーク事業 ・同報系無線の維持管理 ・災害対策（非常配備・行方不明） ・避難所誘導看板の設置
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の目標指数を20,520食（想定避難者数1,900人×3食×3日×1.2）とし、平成30年度から5か年を掛け充足させた。 ・令和2年度中に新型コロナウイルスを始めとする感染症対策として、段ボールベッドやパーティション、マスクなどを購入し、備蓄している。 ・出前講座の依頼が2件（大屋敷区／令和5年7月、尾北看護専門学校／同10月）あり、「家庭における防災」について講話し、防災意識の向上を図った。加えて、災害ボランティア養成講座（社協主催）の依頼にも応え、講話を行った。 ・広報おおぐち（6月号及び9月号）にて防災特集（マイ・タイムライン、指定緊急避難場所指定避難所ご存知ですか）を組み、啓発・周知に努めた。 ・令和5年10月、名古屋地方気象台の方を講師に招聘し、「職員防災研修」（職員27名、丹羽消防署4名、水道部3名、社会福祉協議会1名参加）を実施した。 ・令和5年10月、町と北地域自治組織共催の「北地域自治組織避難・防災訓練」に職員12名が参加し、地域住民の方との協働のもと、訓練に取り組んだ。 ・「大口町地域防災計画」及び「国民保護計画」については、例年どおり愛知県の改訂を主に改訂作業を行った。 ・同報系無線の維持管理のため、新たに戸別受信機15台を購入した。 	
令和6年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度、課長級以上を対象とした「職員防災研修」を実施し、管理職の防災意識を向上させた。令和6年度は、「災害対策本部運営訓練」を始め、職員の災害時における初動について、今一度、確認と周知の実施を検討していく。 ・大口北防災センターにおいて、初めて地域自治組織等と協働した防災訓練を実施したが、今後も継続した訓練を実施したいと考えている。 ・避難所への誘導の視認性を高めるために、避難所誘導看板の設置を行う。 	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第3章	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する					
	基本政策	第1節	安全安心の地域社会形成					
成果指標	防災訓練に積極的に参加している住民の割合							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	6.1	5.3	—	—	—	—	11	12

成果指標	地震や水害など防災に対する安心感							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	0.23点	0.24点	—	—	—	—	—	0.40点

成果指標	食料や水などを家庭内備蓄している人の割合							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	73.20%	52.20%	—	—	—	—	—	77.00%

■ 3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区防災の強化（地域自治組織） ・ 災害時情報取得の推進（あんしん・安全ねっと） ・ 戸別受信機の普及（継続） ・ 備蓄食料の計画的購入 ・ 地域防災計画、国民保護計画の修正（継続） 				
項目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標
メール登録者数（累計）	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成
計画備蓄食糧数	16,470 (+1,350)	17,820 (+1,350)	19,170 (+1,350)	20,520 (+1,350)	20,520 (±0)

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄食料の維持 ・ 地域自治組織単位での防災訓練の推進
R8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄食料の維持 ・ 地域自治組織単位での防災訓練の推進

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	防災啓発事業協働委託、各種契約事務 戸別受信機の配布（通年） 戸別受信機の受信レベル低度の方へのフォロー（通年）
7	備蓄食料契約 起震車による地震体験講座（小学校）（調整により開催月変更あり） <出水期、台風シーズン>
9	災害対策本部運営訓練
10	防災訓練
11	避難所誘導看板設置
12	備蓄食料納品
2～3	防災会議、国民保護会議
通年	地域防災計画（マニュアル編）の見直し

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価